

子ども目線に立った交通安全点検の実施について

<趣旨>

通学路の危険個所を子ども目線に立って点検するとともに下校児童の見守り活動を実施し、交通事故防止を図るもの。

1 実施日等

- (1) 令和4年9月26日 9/29毎日朝刊
大津警察署
青山小学校の通学路
- (2) 令和4年9月28日 (3) 令和4年10月11日
彦根警察署 大津警察署
佐和山小学校の通学路 瀬田東小学校の通学路

2 参加者

- (1)・(3) 青山・瀬田東小学校 児童・教員
大津市 道路河川管理課 生企課
大津署 交通一・生安課 子ども安全リーダー
- (2) 佐和山小学校 児童・教員
彦根市 建設管理・交通対策課 教育委員会
彦根署 交通課
民生委員児童委員 彦根東中学校PTA

3 実施内容

市職員らとともに下校する児童に付き添い、交通安全施設の整備状況を確認しながら、児童から通学路の危険個所を聞き取って、子ども目線に立った交通安全点検を実施した。また、児童に対し、安全な横断方法や危険個所の通行方法について指導した。

子ども目線で通行車両の接近を体験したところ、車両運転者が歩行者に気付いていない感じがした。車と歩行者を分離するために歩道やガードレール設置の必要性を感じた。

大津警察署



安全な横断方法の指導



彦根警察署

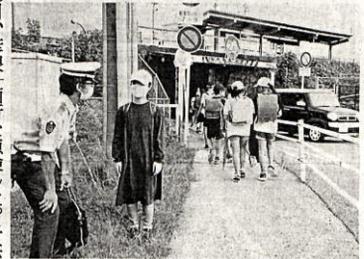


危険個所の通行方法の指導



通学路、危ないところは？

彦根署 小学生に聞き取り点検



幅が狭く、見通しの悪いJR高架下の危険箇所の前で意見を警察官に伝える児童―彦根市で

彦根署は28日、彦根市立佐和山小(彦根市安清町)通学路の危険箇所を点検した。子供

市職員らとともに現場で同小児童から意見を聞いた。危険箇所は、同小近くのJR高架下。車道幅2.4m、歩道幅60cmと狭く見通しも悪い。同署によると、車と人の接触事故も発生しており、いつ子供が巻き込まれる事故が起きてもおかしくないという。同小によると、約400人の児童が通学路として利用している。同小6年の藤本歩里さん(仮)は「車が近くを走っていて、ぶつか

り、柵を作ったりしてほしい」と訴えた。他の児童からは「前から車が飛び出してきた」「カーブミラーが見づらい」などの意見が出た。同署交通課の式部綱祐課長は「子供の生の意見を聞いて危険箇所だと再認識した。通学路での交通指導取り締まりを徹底し、悲惨な事故抑止に努めたい」と述べ、白線の引き直しやガードレールの設置、歩道の拡張などを検討するという。

【菅健吾】